



第18回 日本フットボールリーグ

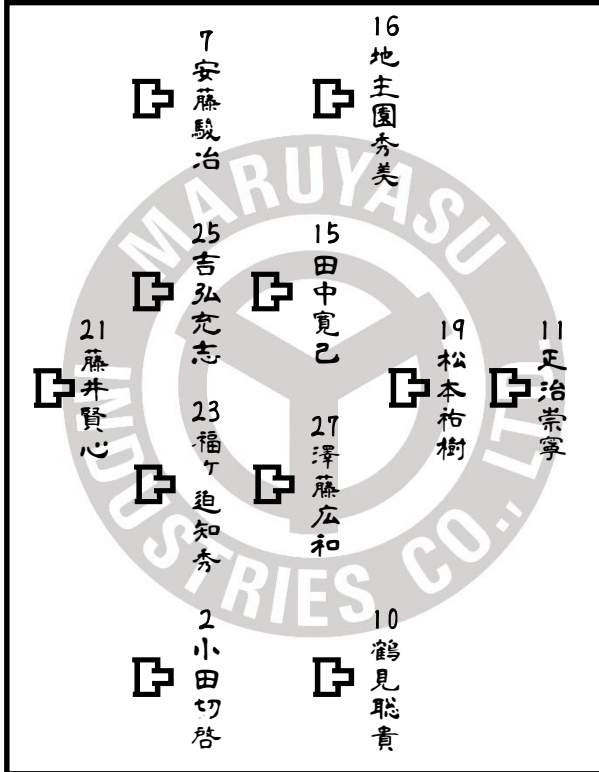
セカンドステージ 第2節

対流経大ドラゴンズ龍ヶ崎戦

於名古屋市港サッカー場

予想布陣図屏風 (FCマルヤス岡崎蔵)

流経大ドラゴンズ龍ヶ崎 監督 中島 俊一
2nd-S 1位(勝点3) 「本拠地」常陸国 龍ヶ崎市



FCマルヤス岡崎 監督 山村 泰弘
2nd-S 3位(勝点3) 「本拠地」三河国 岡崎市

常陸の龍王
流経大ドラゴンズ龍ヶ崎

学生チームながら1st-S 1位という成績を収め、玉座に腰を下ろした流経大ドラゴンズ龍ヶ崎。低迷した昨シーズンから見事な変身を果たし、サッカー界の登竜門たる存在感をアピールした。若さと風格を兼ね備えた「龍王」は、今年のJFLを征服すべくその力を見せつける。

勇者マルヤスの冒険
〜岡崎の戦士たち〜

つかの間の休息を経て幕を開けた2nd-S。マルヤスは幸先よく岡山Nに勝利。足取りも軽やかに第一歩を踏み出した。

対戦相手は1st-Sの覇者である流経大ドラゴンズ龍ヶ崎。立ちはだかる難敵は2nd-Sの頂点と完全制覇を狙う。両ステージを制してこそ画竜点睛を成すだけに、「今シーズンの半分をお前にやろう」とは言わないはずだ。

声援を追い風に繰り出せば会心の一撃。そして、いかなる苦しみの時も、いかなる悲しみの時も、いかなる時も、サッカーを信じサッカーを愛せ。その姿勢こそが、勝利への扉を開ける最後の鍵になる。

鰻井発祥の地 龍ヶ崎市 「鰻と徳川家康」

龍ヶ崎市は鰻井発祥の地と言われている。徳川御三家の一つである水戸藩。その勘定奉行を務めた大久保今助が生みの親だ。元は江戸の商人だった今助。ある日、今助は江戸から水戸へ出かける道中、牛久沼の茶店で鰻の蒲焼きと飯を食べようとした。ところが、渡し舟が今にも出発せんとしている。慌てた今助は蒲焼きを飯に載せ、皿を蓋の代わりにして舟に飛び乗った。やがて舟は対岸に到着。空腹の極み今助は舟を降り、手元の蒲焼きに手をつける。蓋代わりの皿を開けると、飯の熱と上記で熟成された蒲焼きの薫りが漂い、食べてみればタレの染み込んだ飯と香ばしい鰻の風味が口の中に広がった。

江戸に戻った今助は井に飯を入れてその上に鰻の蒲焼きを載せた料理を「鰻井」として売り出した。鰻井はたちまち人気となり、世間に広まったのである。鰻井の主役である鰻は、徳川家康の江戸整備により労働者の食事として普及した。江戸湾の干拓に伴い多くの湿地が生まれ、そこに鰻が住み着いたためである。当時は串刺しの鰻に酢や味噌をつける食べ方が主流だったが、やがてタレを使った蒲焼きに進化。その蒲焼きを水戸徳川家の大久保今助が鰻井へと昇華させた。土用の丑に豆知識として披露してはいかがだろうか。

今節のイベント紹介

「グレート家康公

「葵」武将隊 参陣」

・お出迎え

刻 14 時 30 分～15 時

・演武披露

刻 15 時 10 分～

於 ピッチサイド

「さくらHR&チアーズ登場」

・お出迎え

刻 14 時 30 分～15 時

・パフオーマンス披露

刻 ハーフタイム

於 ピッチサイド

「ケータリングカー出店」

於 スロープ付近

「1st・S写真展」

於 コンコース

「選手と遊ぶ企画

1st・S 振り返りクイズ」

刻 14 時 30 分～15 時 30 分

於 コンコース

本日のウエルカム

ミュージック

毎度おなじみ流浪の企画、ウエルカムミュージックです。相手チームの選手紹介時に、そのチームに関連のある音楽をBGMとして使用します。本日は1st・S 1位に輝いた「龍王」こと流経大ドラゴンズ龍ヶ崎の栄誉を讃える名曲をご用意しました！

次回主催試合 平成二十八年七月十日 対 ラインメール青森 戦

於 名古屋市港サッカー場



制作・文責
スタジオム
母子芸人
イケザえもん

一粒であなたを守る

賢心

第二類医薬品

藤井模範堂



カテキン1000mg配合！

グマザワ

熊のマークの大勝薬品

蹴球商店

SANO



twitter
ikezaemon01